

大方支所管内より



理科の勉強にもなる!

黒潮町立上川口小学校

9月15日に西土佐支所で開催されたカボチャの大きさを競う「がいにくりたまげた大会」に参加しました。大会の日、会場には行くことができませんでしたが、カボチャは参加。昨年に引き続き2回目の挑戦です。3本の苗を植え付け、3年生と4年生が草引きなどをしてきました。見事、特別賞を受賞！おめでとうございます。来年もビックリ大賞を狙ってぜひ頑張ってくださいね！

極上のブドウを堪能しました

観光農園(株) わっはっは

(右から) 岸本 佳子さん(45歳)
浦田 知江さん(45歳)
秋田 恭子さん(45歳)
従業員の 中平さん

大月町芳ノ沢にあるブドウ農園。今年は8月初旬から9月25日まで楽しめました。16棟のブドウハウスで「ピオーネ」や「シャインマスカット」、「土佐太郎」などシーズン中は18種類を栽培していて、時期に応じて2、3種類ずつブドウ狩りを楽しむことができました。入場は無料で時間制限がなく、収穫した分の量り売りです。昨年8月にオープンした「Café ブドウの木」は敷地内にあり、シーズン中に自家製ブドウジュースやブドウのロールケーキなどのスイーツを味わうことができました。みんなが「甘っ! おいしいっ!」とびっくり。自然に囲まれた農園で心も癒され、驚きの甘さで大きなブドウ。来シーズンも楽しみですね♪

大月支所管内より



幡豆地区 から こんにちは 今月の○○ 気になる人

宿毛支所管内より



のびのびすくすく成長

烏骨鶏のゴエモンちゃん(黒色2羽)
ピーちゃん(白色)

宿毛市山奈町の大原千寿さん家族と暮らしています。初めて有精卵から孵化器を使って21日間で孵化させました。生まれてから約3年になります。3羽とも砂遊びが大好き。トリのエサの他白菜も食べます。大原さんに性格を聞くと、「3羽ともエライツ。中でもピーちゃんが1番強いです。でも、畑から戻る時はちゃんと後ろからついて来る」と目を細めます。卵は6日間産んで10日間休むというリズム。おいしいと好評です。

この日は、(なんか知らない人来た)と警戒かしこい3羽。夕方になり自ら小屋に戻りました。これからも大原家のアイドルとしてみんなを癒してね♪



毎週火曜日が楽しみ!

四万十市口鴨川地区のみなさん

毎週火曜日に地区集会所に集まって介護予防の体操や、脳トレをしています。この日は12人が集まり、同市地域包括支援センターを招いて「聞こえと認知症について」のテーマで講演を聴きました。その後は、いつものフレイル予防! 座ったままで両足や両手を動かす体操をし、「こうぐり」のクロスワードを皆で考えて答えを出しました。それから輪投げ大会参加に向け輪投げの練習。学び合いおしゃべりして笑い合い、体も動かし楽しいひと時を過ごしました。

みなさんが「毎週火曜日が楽しみ。台風などで休みになった時はとても残念だった」と話していました。みなさんにとってとても大切な場所ですね。

中村支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



表彰状を受け取る清水部長。

1 幡多地区

高知県家の光大会 記事活用体験発表で 最優秀賞受賞

令和4年度高知県家の光大会が9月9日、高知市春野文化ホールにて開催されました。県内JAの女性部員ら約250人が参加。『家の光』記事活用体験発表では県内3支部が発表し、大正支部の清水兄子部長が最優秀賞を受賞しました。

清水部長は「家の光」と出合っただけで、清水部長は「家の光」が写真やイラストなどを大きなスクリーンで紹介しながら10分間の持ち分、使い方を活用して取り組みを紹介しました。清水部長は「家の光」が女性部員の活動を広く紹介する機会が嬉しかったと笑顔で話しました。



職員、生産者が商品をPR販売しました。

2 中村支所・西土佐支所

「実りの感謝祭」でとさのさとに出品 米ナス・しまんと農法米コシヒカリ

「土佐の豊穰祭2022」とさのさと会場では、9月23日～11月27日まで「とさのさと実りの感謝祭」を開催しています。9月23日・24日の2日間は、四万十市フェアが開催され、特産のぶしゅかん・米ナス・しまんと農法米などをPRし販売しました。

中村支所経済課福留課長は「化学肥料や農薬を減らし濁水が流れないよう配慮した農法でこだわり抜いたお米。艶あり粘り良しで美味しいですよ」とアピールしました。「しまんと農法米」コシヒカリ、ヒノヒカリはJAグリーン四万十店やJAグループ高知の通販サイト「とさごころ」でも購入できます。

3 大方支所 厳かな雰囲気の中で祈る 大方支所園芸部



豊作・安全を祈願する皆さん。

大方支所園芸部会は9月14日、黒潮町の神社で令和5年度年度の豊作を願う祈願祭を行いました。同部会の役員やJA職員など15人が参加。同園芸部会では毎年祈願祭を行っており20年以上の歴史があります。大方選果場に出荷している品目の苗や種などが神前に祀られ、同園芸部会の下村昌幸部長が玉串奉奠を執り行いました。

4 宿毛支所 農業公社にテレビ取材 農業の振興と担い手の育成に尽力



イチゴの苗を持って笑顔で同公社をPR。

JA高知幡多地区と宿毛市が連携し、平成31年5月に設立した農業公社のスタートアグリカルチャーすくもに9月30日、高知放送が取材に来ました。番組のテーマは県の産業振興計画の取り組みをPRするもので、市農業の振興と地域の活性化を目指し担い手の育成に力を入れていることを取り上げました。同公社では4人の研修生がおり、その内の3人が20アールのハウスで土耕・高設栽培の両方法でイチゴを栽培しています。来月5月に卒業する吉原みさきさんは、大月町で就農する予定です。「手厚いフォローで初心者にはありがたい場所。ゆくゆくはイチゴ狩りなどできるような観光農園を作りたい」と展望を語りました。

5 幡多地区 青壮年部・女性部・JA 三者で意見交換会



意見交換をする青壮年部部長の皆さん。

三者による意見交換会が9月30日、地授本部で開催されました。各部長やJA役員を25人が参加しました。この日は各支部の意見や要望を聞いてJAに対する生の声を発信し共に向上を図るよう毎年開催する貴賓会。青壮年部はレンタルハウスなどの入札、営農指導体制情報開示、農産物の適正価格へのJAの取り組み姿勢。支所再編後の要望など意見を出しました。女性部からは、活動できる場である農業祭や産産の開催、参加を願う声などが出ました。

6 大月支所 台風14号の暴風で被害のハウス 園芸部会で協力し修繕



修復作業をする部員の皆さん。

大月支所施設部会は9月21日、台風14号の暴風で被害を受けたビニールハウスの復旧作業を行いました。同部会では、これまでも部員のハウスが自然災害などの被害を受けた際には集まり協力してきました。今回も台風が通過した翌日には各品目のJA営農指導員がハウスを巡回、部員らがすぐに連絡を取り合い16人が集まりました。部員らは「みんなできると作業も早い」と手際よくハウスを修繕しました。

初心者（家庭菜園）向け タマネギ



栽培のポイント

- 冷涼な気候を好み、寒さにも強く育てやすいです。
- 連作障害はほとんどないため、狭い畑での作付に好都合です。

【栽培暦】 ●:植付け ■:収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
早生											●	
中生											●	
晩生											●	

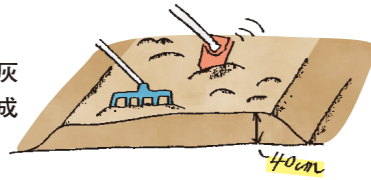
① 畑の準備

- 植え付けの20日以上前に石灰をまいて、15～20cmの深さによく耕す。石や木切れなどは取り除く。

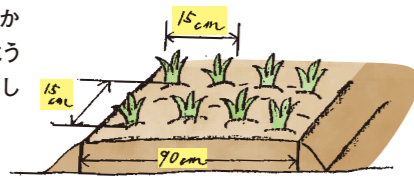
② 元肥入れ・植え付け

<ベッド植えの場合>

- 1㎡当たり過リン酸石灰 大さじ3杯、千代田化成 大さじ3杯よくならします。

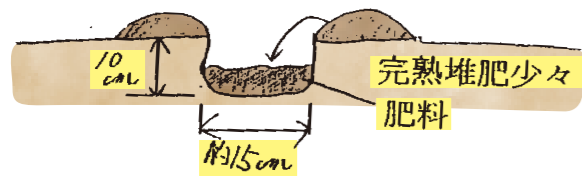


- 全面的に完熟堆肥、肥料を15cmの深さにすき込みます。植えて2～3cm土をかける深植えをしないように。苗を指先で挿し込みます。

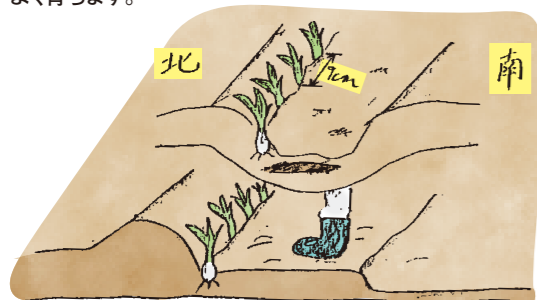


<条植えの場合>

- 鍬幅の溝を掘り、完熟堆肥を少しと、元肥（1㎡当たり過リン酸石灰大さじ2、千代田化成大さじ2）を入れる。



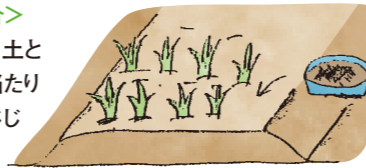
- 根元を足で踏みつけましょう。タマネギは土がしまっている方がよく育ちます。



③ 追肥

<ベッド植えの場合>

- 肥料をばらまき、土と混ぜます。1㎡当たり千代田化成大さじ3杯。



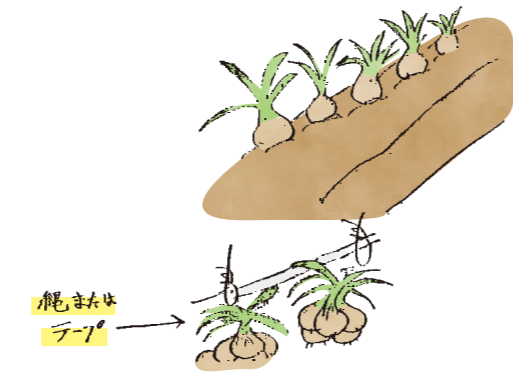
<条植えの場合>

- 畝の片側に軽く溝を切り、肥料を施し土を返します。普通栽培では12月下旬と3月上旬の2回。



④ 収穫

- 球や茎が十分肥大し葉が7～8割倒れたら、天気の良い日を選び、引き抜きます。遅くまで植えたままだと病害が入り、貯蔵中の腐敗が多くなります。引き抜いたら2～3日そのまま畑に並べ、乾燥させましょう。



⑤ 貯蔵

- 葉が半乾きになったら、5球ずつ束ねてふりわけ、日陰で風通しの良い軒下などに吊り貯蔵できます。貯蔵の際には病気がかかった株などは除き、大きさを揃えましょう。つるす場所がない場合は、茎葉を切除して網かごに入れ、風通しのよい日陰に置きます。



■ 幡多農業振興センター 森本 （電話 0880-34-7070）

辛みのないシシトウ品種 （高育交15号及び16号）の紹介

高知県のシシトウ生産量は国内1位で、高知県農業技術センターでは産地の維持・発展に向けてシシトウの品種改良に取り組んできました。この度、まったく辛みのないシシトウが開発されたのでご紹介します。

シシトウの正式名は獅子唐辛子で、辛みのあるトウガラシの仲間ですが、トウガラシのように味は辛くありません。しかし、辛みを生む遺伝子を持っているため、栽培中にストレスがかかると辛みがある果実（辛み果）が発生することから、消費者が敬遠する原因にもなっています。

そこで、辛み果が発生しないシシトウであれば、より多く消費者の手に取ってもらえるのではという視点から、シシトウの品種開発が行われ、「高育交15号及び16号」という2つの非辛みシシトウの品種ができました。

県内では、令和2年9月からハウスシシトウ（促成栽培：9月～翌年6月）で、令和3年4月から露地シシトウ（夏秋栽培：4月～10月）で現地試験栽培に取り組み、現地適応性の確認を行っています。

幡多農業振興センター管内では、四万十市（西土佐地区）、土佐清水市、大月町、三原村、宿毛市で「高育交15号及び16号」を試験的に実証栽培しています。

「高育交15号及び16号」は、既存品種より節間が長く、果実の肥大速度が速くて果形が細長いという特徴があります。今回は系統名でご紹介しましたが、非辛みシシトウの「高育交15号及び16号」は品種登録の申請を行っており、新しい名前が決まりましたら改めてご紹介します。

機会があれば、是非食べてください。また、栽培にも取り組んでみませんか。



「高育交16号」と既存品種「あおい」の果形



「高育交16号」の生育状況



定植後の「高育交15号」

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

グリーンレモンが大好きで何にでも搾って使っています。使いだしたら他の物では代用がききません。鈴なりのレモンを見ていたら作る人の苦労がよくわかります。ありがとうございます。

（宿毛支所管内・75歳）

5〜6年前からジャム作りにハマっています。ジャム作りに国産レモンを使うようにしているのですが近くでは売っておらず「JAとさのさと」まで買いに行きます。黒潮町にグリーンレモンがあることは知っていたのですが・・・今回の特集を見て大方の方へ行けば買えるのかなア〜と思っています。手に入れればレモンジャムを作ってみたいです。

（十和支所管内・63歳）

グリーンレモンのファンです。初めて食べた時の何これ感が忘れられません。レモンとは違う甘すっぱさ感が何とも言えません。日本になつてほしいです。

（大方支所管内・67歳）

▼レモンジャムいいですね!! ジャムにしてお酒や炭酸に入れるのもおいしそうです。グリーンレモンは、道の駅ヒオスおおがたの他、グリーン四万十店、グリーンはた宿毛店でも10月いっぱい頃まで購入できます。来シーズもぜひお買い求め下さい。

害獣対策を集落ぐるみで行っているのを見ましたが、これからますます大変な問題になると思い拜見しました。

（中村支所管内・72歳）

サルは突然現れて未熟な南瓜を片っ端から盗って行ってしまい、きゅうりやナスもちぎって畑をめちやくちやにしてしまいます。木から木へ移動するので銃を準備する間に姿が見えなくなつて捕獲は難しいですネ。捕獲檻の成果はいかがでしたか。地域住民皆で取り組んでいるとの事。その後の経過も知りたいです。

（西土佐支所管内・65歳）

▼サルは金網柵も乗り越えるので本当にやっかいですね。私も以前、楽しみにしていた収穫が全くなできなかったことがあります。この対策が功を奏し、被害が減る事を期待しています。

ナスとカボチャの南蛮漬けを作って頂きました。大変美味でした。次回が楽しみです。

（佐賀支所管内・90歳）

ナスとカボチャの南蛮漬けチョ〜おいしかったです。他のいろいろな野菜もやってみておいしくいただきました。

（佐賀支所管内・66歳）

「ナスとカボチャの南蛮漬け」や「オクラとイカの和え物」等夏野菜たっぷりのおいしいおかずをさっそく作ってみました、おいしい!!

（大方支所管内・70歳）

▼9月号は高知地区女性部レシピ紹介でした。南蛮漬けは野菜だけでなく魚や肉料理にも使うので参考になりました。大人から小さいお子さんまで大人気の南蛮漬。簡単に作る事ができてレポートも増えそうですね。



新刊のお知らせ



●『豆』
有元葉子 著
定価：1,870円（税込）

豆好きである有元葉子さんが作り続けている豆料理。大豆や黒豆など昔から食べられている豆のほか、枝豆などの生の豆も使用し、和食・洋食・中東料理と幅広く紹介。乾燥豆の戻し方、ゆでも写真入りで解説。



●『はじめてのナチュラルドライフラワー』
吉本博美 著
定価：1,870円（税込）

生花の美しい色合いと姿が長くキープできる、ナチュラルドライフラワーの作り方。著者が自身の教室でのみ教えてきた、乾燥方法や花の選び方、飾り方を丁寧に解説。123品種の図鑑付きで好みの花が選びやすい。



●『今日からはじめる減塩ごはん』
小田真規子 著
定価：1,650円（税込）

おいしいから無理なく続けられる減塩レシピ！少ない塩分で満足度高く作るテクニックで、唐揚げなどの定番料理も通常より塩分を3〜5割カットできる。副菜や汁ものを組み合わせれば塩分2g以下の献立も紹介。

「家の光」2023年1月号のお知らせ

1月号（922円税込）の別冊付録は「筆ペンでかく プチイラスト&ゆる文字」。手軽に毛先のタッチが楽しく、かわいいと人気の「筆ペンイラスト」と「ゆる文字」。手と頭をフル活用することで、健康効果も期待できます。なぞり描きができるページも。年賀状、コースター、ブックカバーなどのほか、直売所のポップにもいかせます。12月配布なので年賀状にも間に合います！ お問い合わせは最寄りのJAが下記までご連絡ください。



お問い合わせ JA高知県幡多地区企画組合員課 石崎 0880-34-5555